

「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日日に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：地域の誇り・まちづくり日新広報部
福井市文京5丁目1-8日新公民館
発行日：平成27年(2015年)9月20日

日新地区だより 35号



ゆめにっしん

日新
苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに
日日新 ひ び あら 日々新たに
又日新 また ひ あら 又日に新たなり
出典 「大学」

ハートフルサタデー 青春ハツラツ!

藤中吹奏楽部と福商チアリーダー部「JETS」

7月11日、ハートフルサタデーが日新小学校体育館で開催され、藤島中学校吹奏楽部と福井商業高校チアリーダー部「JETS」が出演。演奏やチアダンスでおよそ300名の観客を魅了しました。プログラムの最後には、2校の



力強い躍動

“コラボレーション”が披露され、ひと際大きな手拍子が沸き上がっていました。

割れんばかりの拍手

藤中吹奏楽部は、吹奏楽の大会はもちろん合唱の大会にも出場するほど音楽好きな76人で構成されており、この日も力いっぱい演奏していました。また、入部して間もない1年生も練習曲を演奏。来年は、成長した姿を見せてもらえるものと思います。



よく鍛練されたダンス



迫力ある演奏



練習曲「かえるのうた」を演奏する一年生

一方、福商の「JETS」は、全米チアダンス選手権で今年5回目の優勝を3連覇で飾るなど、輝かしい成績を残しています。ダンス初心者の1年生22人を含めて58人の部員は今、「全米制覇」を夢見て暑さにめげず練習に励んでいます。夢を追う彼女たちの眼は煌めいていました。

目新春秋

忘れられない一つの歌

日新公民館 館長 廣瀬 行雄

ここ数年来、私の心を捉えて離さない一つの歌があります。それは昭和19年発表の童謡「父母のこえ」疎開学童の歌」です。▼その4番の歌詞は、「太郎は父の故郷（ふるさと）へ 花子は母の故郷へ 鉄にさくさく土の声 草も巖（いわお）も語る声 心雄々しく生き行けと 遠い祖先の語る声」です。▼これを私は次のように解釈しました。「親の故郷へ疎開してきて、食糧事情もよくないので畑仕事を手伝っていると、鉄がさくさくと土に食い込む音や、畑のそばの草が風になびく様子や、大きな岩がでんと構えている様子から、遠い祖先が『君は親と離れて寂しくつらい思いをたくさんしているかもしれない。でも私たちがだって、戦乱や飢饉や疫病などつらいことはたくさんあったのだ。でも君が今こうして生きているのは、我々祖先が困難に負けないで命をつないできたからだ。だから君も決してしょんぼりするんじゃない。心を強く持つて生きるんだ。』と語りかけてきたような気がしたよ。」▼東日本大震災では、両親を亡くした子ども達は2000人、片方の親を亡くした子ども達は2000人いるとの記事を見たことがあります。また、家族が離れ離れになったり、ふるさが消滅した子ども達もたくさんいます。直接励ましの言葉をかけるのは大変おこがましくともできないのですが、何とか歌のように考えて強く生きてほしいと願うばかりです。

(※インターネットで「童謡父母のこえ」等で検索すると何種類か聞くことが出来ます)



2ブロックで夏祭り



文里地区と乾徳地区で、炎天下のもと夏祭りが開催され、大勢の参加者で賑わいました。



民踊の夏 日本の夏 ですね

文里夏まつりは7月26日、上里白山神社境内を中心に開催され、文里子供太鼓や民踊大会などが催されました。この日は、福井市で今年の最高気温 36.6℃を記録しましたが、暑さに負けずに祭りを楽しんでいました。また、日新ガールズミニバスケットチーム(団員15名)が初めて参加し、運営資金を少しでも…と、手作りのアクセサリーやケーキ、飲み物などを一生懸命販売していました。



子どもも大人も輪になって



華やかなテントでした

8月8日には、「いつもの乾公園」で「KENTOKU SUMMER FESTIVAL」と言う名の「乾徳夏まつり」が開催されました。住民製作の特製長椅子が並べられた会場では、女性有志手作りのおでんなどを味わいながら、カラオケ大会、お笑いショーなどを楽しんでいました。



汗だくで長椅子の組み立て

裸電球の夜店



この乾徳まつりの前々日には、同じ乾公園で日新地区民踊大会が開催され、多くの民踊愛好家が踊りに興じていました。この民踊大会は、日新地区の4ブロックが持ち回りで開催しているもので、今年は乾徳ブロックが担当でした。



ショーを楽しむ人達



公民館で出番を待つおでんたち

なお、八ツ島、堀ノ宮の両地区では、夏祭りのイベントはありませんでしたが、10月に秋祭りを予定しており、準備も佳境を迎えています。

交通安全茶屋で誓い マスコットに願いを込めて

7月5日、交通安全マスコットづくりが行われました。約20人が参加し、昼食を挟んで250個を作成しました。その後、神社でお祓いを受け、7月29日の



丹精込めて…

交通安全茶屋」でドライバーに配られました。



「夏の

道交法改正で悪質自転車運転者に講習

今年は、6月1日に、悪質な自転車運転者に安全講習を義務づけるなど道路交通法が改正され、交通安全に対する意識が高まっています。

この制度は、重大事故につながる危険行為として、酒酔い運転や一時停止違反など14項目を指定しています。「ゆめ・にっしん」でも、この制度をシリーズでお伝えしていきます。

一回目の今回は、「信号無視」と「一時停止」です。自転車

も、自動車や歩行者同様、赤や黄の信号では停止線で止まらなければなりません。また、一時停止標識のある交差点でも一時停止をしなければなりません。赤信号や一時停止をせずに交差点に進入した場合、重大な衝突事故が発生しかねないからです。交通規則を守りましょう。



しっかり守って安全確認

子ども達に防災意識を！

8月7日、小学生を対象に「子どものためのぼうさいくんれん」が行なわれました。

色々な災害について学んだ



後、地震や煙の怖さを体験。震度6強でも、終始笑顔でしたが、揺れの強さには恐怖を感じていたようで、机の脚にしがみ付いていました。

お知らせ

本格運行記念式典と

無料バスの運行！

さんさんバスは、10月から本格運行となります。今までは、乗客の動向を見極める試行運行でしたが、地区の皆さんのお陰で本格運行に昇格となりました。これを記念して、10月1日午前8時30分から、日新公民館駐車場で記念式典を行います。同時に、10月1日、2日、3日の3日間、無料運行します。全便が無料です。是非ご利用下さい。

また、公民館まつりの10月18日(日)も無料運行します。福仁会病院前発9時、10時、11時、12時、13時の5便です。本来、日曜日は運行しませんが、公民館まつりに来て頂くために特別運行するものです。公民館まつりに是非お越し下さい。

いつまでも元気で

骨粗鬆症って?

協力: 奥村整形外科クリニック

骨折による寝たきりを防ぎ、いつまでも元気よく歩くために。



骨粗しょう症とは

骨がスカスカになって弱くなり、骨折しやすくなる病気です。

特に閉経後の女性に多く見られ、60歳代から急激に増加します。

骨粗しょう症になりやすいのは

喫煙習慣がある

お酒を多くのお

やせている

本人または家族に大腿骨頸部骨折歴がある

ステロイドを内服している

運動不足である

カルシウム摂取不足である

などです。

その症状は

背中や腰が痛み、背骨が曲がって身長が縮みます。

家の中でちょっと転んでも背骨、股関節、肩、手首等を骨折し、手術、入院が必要な場合があり、寝たきりになることもあります。

その診断は

病院で 骨密度測定、採血、尿検査 で行ないます。

その治療は

主たるものは薬物治療です。内服薬と注射です。

その予防は

日光浴

運動

ビタミンDが不足しないバランスの良い食事

予防策

運動

食事

日光浴

屋内環境の整備 ⇒ 敷居や布団などとの段差をなくす、階段や浴室に手すりを付ける、明るくする など

文化部

伝統文化体験学習を開催

文化部 部長 山崎 豊

7月15日、日新公民館で、日新小学校6年生の児童47人と担任の先生2人を迎えて伝統文化体験学習を行いました。児童の皆さんは、茶道に24人、華道に23人と分かれ、先生はそれぞれについての学



丁寧に教わりました

習会でした。

生け花は、オアシスを使った教材で随分早く出来上がったため、担任の先生が一人一人に感想を聞いたりしながら、茶道の学習が終わるのを待ちました。

茶道は、お運び方と受け方に別れて両方の体験をしました。みんな神妙な顔つきで一生懸命取り組んでいました。



真剣に取り組みました

閉会挨拶の時に体験の感想を発表してもらいましたが、皆、臆せずに発言するなど日頃の活発さが戻ったようで、頼もしい感じがしました。後日、小学校から児童の皆さんの感想文を沢山いただきスタッフ一同非常にうれしく感謝しています。

伝統文化の体験と児童の自主性を培うこの学習会は、今後も続けていきたいと思っています。

わがまち自治会

白山神社が鎮座するまち

上里第一自治会 会長 稲木 清孝

私たちの上里第一自治会は文京5丁目の東はえちぜん鉄道、南は西環状線、西は日新小学校東側道路、北は虹の会福祉作業所南側道路に囲まれた、戸数25戸の小さな自治会です。



上里白山神社

この自治会には白山神社が鎮座し、文里地区の真ん中に位置しています。神社境内では、正月は新年祭やどんど焼き、春は祝詞神事、夏は文里夏祭り、秋は子供神輿巡行で文里地区を隈なく廻る行事が毎年行われています。



手入れの行きとどいた三角地の花壇

もう一つは、「上里トライアングル」の名称で道路に囲まれた三角地の事です。これは、約50年前の福井国体の時、西環状線が整備された時の官地です。三角地の中

に花壇が6ヶ所(内1ヶ所は「さつき」を植栽)、花壇の間には透水性ブロックが敷き詰められて綺麗に整備され、地元の婦人の方々に、花植え・草取り・水やり等献身的に世話をしています。しかし、少子高齢化の影響もあり、将来、世話をする人が少なくなることも考えなければなりません。日新地区・文里地区のシンボリックな存在価値のある「上里トライアングル」として存続できればと思っています。